

東海市および半田市における事業所における SDGs 活動動向と取り組みの実態調査
Survey of SDGs activity trends and initiatives at business establishments in Tokai
City and Handa City

野場 惇平
Jumpei NOBA

I. はじめに

近年、SDGs（持続可能な開発目標）を取り入れ「新たな価値を創造する」事業所が世界的に多くなっている。日本国内においては、Society5.0にSDGsの17のゴールが取り入れられ、新たな課題解決イノベーションを促進する経営が注目されている。2019年7月1日に愛知県は「SDGs未来都市」に選定され、全庁を挙げてSDGsの達成に向けた取組を推進している。さらに愛知県内の名古屋市、豊橋市及び豊田市などが、「自治体SDGsモデル事業選定都市」に選定されている。

本研究では、東海市および半田市に本社または施設・工場等設備ある事業所に対しSDGs活動動向と持続可能な社会への取り組みの実態調査をおこないSDGs活動における事業所の変容、成果と課題点を明らかにする。

II. 日本国内におけるSDGsの概要

(1) SDGsとは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択され、2030年までの国際開発目標である。SDGsは17の目標と169のターゲットから構成されている。これらの目標を達成することで持続可能な世界を実現し、地球上の「誰一人として取り残さない」¹ことを目指している。

世界的な持続可能な社会の確立の推進の流れを受けて、日本においても2016年5月20日「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」が設置されることが閣議決定された。この持続可能な開発目標推進本部は、内閣総理大臣を本部長、内閣官房長官、外務大臣を副本部長、本部員を全ての国務大臣としている。そして、関係行政機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進をおこなっている。このような政府のSDGsに対する強い推進により、地方自治体も同様にSDGsを推進し取り組みをしつつある。

(2) 日本国内におけるSDGs未来都市

日本国内において、SDGs促進の一つの取り組みとして、「地方創生SDGs」を掲げ、SDGs未来都市事業に取り組んでいる。SDGs未来都市とは、内閣府ホームページ(HP)「地方創生SDGs」によると、「SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な

¹「誰一人取り残さない」はSDGsの理念であり、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」にも記載がされている。

開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されているもの」としている。

愛知県内において SDGs 未来都市に選定されている自治体は愛知県のほかに、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、知立市、小牧市、安城市である。しかし、東海市を含め、知多半島内の市町では未だに SDGs 未来都市に選定されておらず、SDGs の取り組み状況も調査が実施されていない。そこで、今回は、東海市と半田市における SDGs 活動の進捗状況や SDGs の認知度の調査を進めた。

Ⅲ. 東海市における SDGs の取り組み

(1) 東海商工会議所におけるアンケート結果

本研究では、まず、東海商工会議所における SDGs の取り組みの実態調査をおこなった。2020 年 7 月 17 日に実施した東海商工会議所内でのヒアリング調査では以下の回答を得ることができた。

ヒアリング調査結果

- 東海市における SDGs の取り組みに向けた計画や目標設定などは行っていない。
- 東海市内の事業所における SDGs 活動動向と持続可能な社会への取り組みの実態調査（別機関からの調査依頼も含め）も行っていない。
- 新型コロナウイルス感染症拡大以前は、SDGs に関する関心が高かったが、新型コロナウイルスによる影響で SDGs の取り組みや計画は止まっている状態である。
- 企業と大学間で連携を取りながら SDGs の新たな取り組みができるのであれば検討したい。

このことから、東海商工会議所として SDGs の取り組みに対する計画や調査等は全く行っていないが、コロナ前は SDGs の取り組み計画を立てる段階まで話が出ていたが中止せざるを得ない状況になってしまったことから、SDGs の取り組みに関心と期待が高いことがわかる。

つぎに、東海商工会議所に所属している事業所にアンケート調査を実施し、SDGs の取り組み状況を調査した。アンケート調査の概要および回答結果は以下の通りである。

【目的】東海市内の事業所における SDGs の認知度を把握するとともに、各事業所のニーズを踏まえた施策を検討する参考データとするために調査

【調査期間】2020 年 8 月 3 日～8 月 18 日

【対象者】300 事業所、8 事業所回答（回収率 2%）

【調査方法】WEB アンケート

【調査項目】業種、従業員数、SDGs の取り組み状況、SDGs の環境・社会・経済の課題解決について取り組んでいる項目、SDGs への興味および関心について など

300 の事業所に対して 8 事業所回答しかなく、回答率が 2%と非常に低い結果となった。このことから事業所の未回答が多く、SDGs の認知度と SDGs の取り組み実施度が低いことが予想される。

表 1 はアンケート調査結果をまとめたものである。SDGs の取り組みを実施していない企業において、「興味はあるが、どこから進めればいいのかかわからない」が大半であったため、

事業所内における SDGs の理解に差があることがわかる。しかし、その一方で、「経営トップによる SDGs へのメッセージや貢献の進捗、成果の発信や企業戦略の作成、重点課題の解決のため SDGs に取り組んでいる。」などの回答も見受けられるため、事業所によって取り組み姿勢に大きな差があることがわかる。

表 1. 東海市内の事業所における SDGs の認知度および取り組み状況

貴社における業種について最も適切なものをお答えください	貴社における企業規模(従業員数)について最も適切なものをお答えください	貴社における SDGs の認知度・対応状況について最も適切なものをお答えください	貴社における SDGs の取り組み状況について最も適切なものをお答えください	SDGs の環境・社会・経済の課題解決について取り組んでいる項目を選んでください。(複数回答可)	「取り組んでいない」と回答した企業の方への質問です。SDGs に興味、関心について最も適切なものをお答えください
その他の業種	101 人以上 300 人以下	SDGs について「17 のゴール」があることを知っている	取り組んでいない		興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない
建設業	6 人以上 20 人以下	SDGs について「17 のゴール」があることを知っている	取り組んでいない		興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない
運輸業	101 人以上 300 人以下	SDGs について「17 のゴール」と「169 のターゲット」があること理解しており、興味・関心がある	取り組んでいない		興味があり、今後は企業内でも取り入れようと思っている
製造業	51 人以上 100 人以下	SDGs について「17 のゴール」と「169 のターゲット」があること理解しており、興味・関心がある	取り組んでいる	企業戦略の作成や重点課題の解決のため SDGs に取り組んでいる	
製造業	101 人以上 300 人以下	SDGs について「17 のゴール」があることを知っている	取り組んでいない		興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない
小売業	51 人以上 100 人以下	SDGs という言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない	取り組んでいない		興味はない

サービス業	5人以下	SDGsについて「17のゴール」と「169のターゲット」があること理解しており、興味・関心がある	取り組んでいる	企業戦略の作成や重点課題の解決のためSDGsに取り組んでいる	
小売業	5人以下	SDGsについて既に取り組みをおこなっている	取り組んでいる	経営トップによるSDGsのメッセージや貢献の進捗、成果を発信している、企業内でSDGsに関するワークショップを実施している（または実施予定である）、企業戦略の作成や重点課題の解決のためSDGsに取り組んでいる	
小売業	5人以下	SDGsについて「17のゴール」があることを知っている	取り組んでいる	経営トップによるSDGsのメッセージや貢献の進捗、成果を発信している	

著者作成

東海商工会議所内でのヒアリング調査で、「東海青年会議所がSDGsの取り組みを進めているかもしれません」との回答をいただいたため、東海青年会議所にも同様のヒアリング調査とアンケート調査を実施した。

(2) 東海青年会議所におけるヒアリングとアンケート結果

2020年7月24日に実施した東海商工会議所内でのヒアリング調査では、東海青年会議所代表と役員の2名から以下の回答を得ることができた。

ヒアリング調査結果

- 2030SDGsカードゲームなどSDGsに関する講演や体験ゲームなどの参加はあるが、青年会議所内で実施している取り組みはない
- 新型コロナウイルスによる影響もあるため活動できていないが、大学と連携して出来ることがあれば取り組んでいきたい
- 半田青年会議所では、SDGsの取り組みを進めており、半田青年会議所HPにはコロナ対策版SDGsの作成やすぐろくの作成なども進めている。（情報発信はしているものの成果がどの程度なのか不明）

ヒアリングの回答結果から、青年会議所内は、商工会議所と比較すると、SDGsに関する

講演や体験ゲームなどの参加を積極的に呼び込み、SDGs の理解を深める動きがみられるが、商工会議所と同様新型コロナウイルスの影響により、SDGs の取り組みを進めていきたいが青年会議所で動くことができない状態であることがわかる。

つぎに、東海青年会議所に所属している事業所にアンケート調査を実施し、SDGs の取り組み状況を調査した。アンケート調査の概要および回答結果は以下の通りである。

【目的】東海市内の事業所における SDGs の認知度を把握するとともに、各事業所のニーズを踏まえた施策を検討する参考データとするために調査

【調査期間】2020 年 8 月 3 日～8 月 18 日

【対象者】51 事業所、11 事業所回答（回収率 21%）

【調査方法】WEB アンケート

【調査項目】業種、従業員数、SDGs の取り組み状況、SDGs の環境・社会・経済の課題解決について取り組んでいる項目、SDGs に興味および関心について など

東海商工会議所に所属している事業所と比較して東海青年会議所に所属している事業所の方が回答率は高く、SDGs の取り組みに関して関心が高いことがわかる。

表 2 はアンケート調査結果をまとめたものである。青年会議所等、20～40 代の若手は SDGs に対する関心が高く、半田青年会議所と同様に若手社員や経営者が多い企業において SDGs に取り組んでいる可能性が高い。その一方で、東海商工会議所におけるアンケート同様に、興味関心があるものの「興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない」と答える事業所も多く存在する。また、「それだけのコストがかかることに対しての利益が生まれないため」として、SDGs の取り組みに対して否定的な回答があり、環境配慮の意識は高いものの SDGs に対する認識の違いがあるように考えられる。

表 2. 東海市内の青年会議所所属の事業所における SDGs の認知度および取り組み状況

貴社における業種について最も適切なものをお答えください	貴社における企業規模（従業員数）について最も適切なものをお答えください	貴社における SDGs の認知度・対応状況について最も適切なものをお答えください	貴社における SDGs の取り組み状況について最も適切なものをお答えください	SDGs の環境・社会・経済の課題解決について取り組んでいる項目を選んでください。（複数回答可）	「取り組んでいない」と回答した企業の方への質問です。SDGs に興味、関心について最も適切なものをお答えください	困っている点を具体的に記入してください。	企業で取り入れない理由を記入してください。
製造業	21 人以上 50 人以下	SDGs について「17 のゴール」と「169 のターゲット」があること理解しており、興味・関心がある	取り組んでいない		興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない		

その他の業種	300人以上	SDGsという言葉聞いたことがあるが、内容は知らない	取り組んでいる	経営トップによるSDGsのメッセージや貢献の進捗、成果を発信している			
製造業	21人以上 50人以下	SDGsについて既に取り組みをおこなっている	取り組んでいる	企業戦略の作成や重点課題の解決のためSDGsに取り組んでいる			
その他の業種	300人以上	SDGsという言葉聞いたことがあるが、内容は知らない	取り組んでいない		興味はない		
建設業	6人以上 20人以下	SDGsについて既に取り組みをおこなっている	取り組んでいない		興味はあるが、企業内で取り入れることは考えていない		それだけのコストがかかることに対しての利益が生まれないため
その他の業種	5人以下	SDGsについて「17のゴール」があることを知っている	取り組んでいない		興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない		
建設業	6人以上 20人以下	SDGsについて「17のゴール」があることを知っている	取り組んでいない		興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない	入口を知らない	
建設業	5人以下	SDGsという言葉聞いたことがあるが、内容は知らない	取り組んでいない		興味はない		
建設業	6人以上 20人以下	SDGsについて全く知らない	取り組んでいない		興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない	進め方、考え方がよくわかりません。	
その他の業種	51人以上 100人以下	SDGsについて「17のゴール」と「169のターゲット」がある	取り組んでいない		興味があり、今後は企業内でも取り入れようと思っています		

		こと理解して おり、興味・関 心がある			る		
サービス業	5人以下	SDGsについて 全く知らない	取り組ん でいない		興味はない		

著者作成

IV. 半田市における SDGs の取り組み

(1) 半田青年会議所における SDGs の取り組み状況

2022 年 4 月 5 日に実施した半田青年会議所でのヒアリング調査では、オンラインを通じて半田青年会議所役員の 1 名から以下の回答を得ることができた。

ヒアリング調査結果

- 半田青年会議所は公益社団法人の法人格を有するため、地域に向けた公益活動を軸に、各事業に対して SDGs ゴールを設定し事業を実施している。
事業実施例：わんぱく相撲・夢マップ事業・休耕地の活用と 6 次産業化・ヒマワリ畑創造プロジェクト
- 新型コロナウイルス感染拡大対策の対策表を SDGs カラーがアイコンとなるようオマージュし、「コロナ 18」という事業を実施した。
- 正会員 1 人ひとりが SDGs の必要性を認識し、自社
- に持ち帰ることで企業普及へと貢献している。
- 2019 年には SDGs 普及に向けた「カードゲーム」などの取り組みをおこなっている。

半田青年会議所のヒアリング調査結果から、SDGs の 17 のゴールを有効活用し、半田青年会議所で行う教育や 6 次産業などの事業と結びつけることにより、事業 PR(Public Relations)にもつなげていることがわかる。さらにカードゲームや SDGs のファシリテーター人材育成にも積極的に取り組むことによって、地域への SDGs の発信、青年会議所事業と地元企業の連携、教育機関への社会学習データや資源提供などを行い、地域における課題や問題点を補填しあう流れを構築していることがわかる。

V. おわりに

本研究では、東海市および半田市に本社または施設・工場等設備ある事業所に対し SDGs 活動動向と持続可能な社会への取り組みの実態調査をおこない SDGs 活動における事業所の変容、成果と課題点を明らかにすることを目的として調査を進めてきたが、東海市、および知多半島における自治体および事業所では、SDGs の認知度や取り組み姿勢に大きな差があることが明確になった。また、企業の最も大きな問題点は「興味はあるが、どこから進めればいいのかわからない」点であるため、行政機関、大学機関との連携をとるための体制づくりが必要である。17 のゴールのアイコンを使用した PR や SDGs ワークショップ、

公開講座による SDGs の認知度、理解度を高める取り組みの導入が求められる。

今後の課題点として、地域への SDGs の発信、青年会議所事業と地元企業の連携の効果を測定する必要がある。

参考文献

- 1) 内閣官房・内閣府総合サイト地方創生「地方創生 S D G s ・「環境未来都市」構想・広域連携 S D G s モデル事業」入手先<<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/index.html>>, (参照 2022 年 10 月 30 日)
- 2) 国際連合広報センター「持続可能な開発目標 (SDGs) とは」入手先<https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/>, (参照 2022 年 10 月 30 日)
- 3) 一般社団法人東海青年会議所 HP 入手先<<https://tokaijc.sakura.ne.jp/>>, (参照 2022 年 10 月 30 日)
- 4) 公益社団法人半田青年会議所 HP 入手先<<https://handajc.or.jp/>>, (参照 2022 年 10 月 30 日)